

立命館大学アート・リサーチセンター
 文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点
 「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」
 2019年度 国際共同研究成果報告書〔研究設備・資源活用型〕

2020年 4月 20日 提出

1. 研究課題名	
近世演劇を中心とする芸能史と出版文化の研究 (英文課題名: The research of the Performing Arts History and Print Culture in the Tokugawa Period)	
2. 研究代表者	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
廣瀬 千紗子	同志社女子大学・名誉教授
3. 研究分担者 (合計: 3 名)	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
赤間 亮	立命館大学文学部・教授
金子 貴昭	立命館大学衣笠総合研究機構・准教授
倉橋 正恵	立命館大学衣笠総合研究機構・プロジェクト研究員

4. 研究課題 (300字程度) (申請書から変更がある場合は、変更点分かるように明記してください)
近世演劇資料の出版が成立する環境をめぐって、作者と板元、役者と興行、および同時代の文芸資料との接点を解明する。ならびに架蔵資料と、アート・リサーチセンターのデジタル・アーカイブ活動との連携による新たな資料価値の創出、およびその有効活用方法についての研究を推進していく。
5. 研究成果の概要 (この項は、本センターのホームページ・紀要等で公開することがあります)
当拠点の「テキストとイメージ」プロジェクトにおいて現在逐次進行中の、「6、中井コレクションのデジタル・アーカイブ」の一環として、主として近世演劇資料の調査を行い、当該コレクションのうち「せりふ正本」(105点)の撮影のため、簡易な考証を備えた作業用目録を作成した。
6. 研究業績 (日本語以外に英語名称もあるものは、できるだけ日英両言語でご記入ください)
(3)研究発表等 ・「五代目市川団十郎と暫のつらね」 2019年9月5日、番付ポータルデータベースを活用した興行番付のグローバルアーカイブ構築研究「歌舞伎興行と番付」研究会、立命館大学アート・リサーチセンター、倉橋正恵、寺田詩麻、査読なし。